

第1回ワークショップ ふりかえりシートご意見

1 今日の議論で良かったこと

- 各地域での代表者からの地区の意見が活発に出た事。
- 知り合えた個の意思が聞けた事。ネガティブで無い事が良かった。
- …。
- 特になし。
- 公共施設には、必要である施設しかなく、無駄となるものはない。…同意見。但し、他地域の方が施設を利用したい場合には、シェアする事も検討可能と思えた。システムの利用予約などを入力（予約）。
- 他地域からの利用出来る展開も考えても良いのかな？
- 皆様種々お考えの事があり、刺激されました。私も少し今後の公共施設の活用について考えます。地域全体が婦中地区で全体。よく吟味します。
- 貴重な違う立場の人の意見を聞くことができた。
- 他の地域の課題が聞けたこと。
- 各地区の意見を拝聴できたことが良かった。
- 婦中地域を考える良い機会であった。
- 自分が感じていたことと同じようなことを他の方も考えていらっしゃるということがわかると、なるほど大切な問題かもしれないと思えます。
- 他の方の発言によって、自分の考えがまとまったり、また新たに出てきたりすることがありました。
- グループの懇親が深まった。
- 初めの一步として今日のこの時間は大切なものだと思います。
- 行政センター等の空スペースの有効利用を考えるべき。
- これでいいのでは。

- 1人ずつ意見を発表できた事。
- 婦中地域全体の問題点、取り組みがわかった。

2 内容について言い足りなかったこと

①. 「地域別実行計画」の策定に向けた検討の進め方やワークショップの進め方についての質問や提案について

- 各施設の稼働状況（利用状況）において、必要性和必要性向上の案等を検討すべき事項を考慮したい。
- 公共施設の活用状況が不明であります。
- コストを下げた分を小規模地区にあてるようにする。
- 地域住民の話を聞く機会を設けることは良いことです。
- 小学校、公民館等を対象としている事はこのワークショップの議題とすべきではない。
- 意見を聞いてどのように今後反映されるのかわからない。
- 4回のワークショップで地域実行計画を策定するのは無理があると思われる。
- 人口増の地域について投下資本を削減していくことには無理がある。サービス低下を強いることで、利用減を招くのはいかななものか。
- 婦中地域の特に人口増地区はいわゆるベッドタウンであり、住民サービスの低下につながる施策には反対である。
- 統廃合を検討するなら、現在のコスト、今後の（地域別）人口推計等を提示してもらう必要がある。
- 次回のワークショップのグループ分けは再編されますか？
- 初めての参加です。ファシリテーターの方の指示等にしがたい皆様のご意見を拝聴させていただき、大変参考になりました。
- 地区を離れて婦中地区全体として考えなければならないと思いますが、

なかなか難しいです。

- 婦中地域に1つしかない施設はわからない。情報、説明が欲しい。
- 最初だから仕方ないのかもしれないが、施設の類型別に分けて議論すべきだと思う。
- 施設の今後について検討するのであれば、耐用年数や将来的なコストについても資料として出して欲しい。
- 全体像がはっきりしていないので質問や提案についてグループ意見を参考にしたいと思います。
- 各地区（校区）の実態に終始していたが、説明の資料から、婦中地区全体を考えるにはまだ時間を要す。
- プールを無くした場合、年間どのくらい費用がへるのか。
- 全体的な意見を聞けたら良かった。特定の人が意見していた感じ。
- 時間が短いかな？
- 一概にどう進めてよいかわからない。
- 最初（ワークショップの前）のお話がとても長くて20分もあり、そのあとがバタバタ。
- 各自、初めての体験だったのですが、結構話が出て良かったと思う。
- 空地について工場や商店等の活用計画を進めてもらえれば。
- ほぼ了解。
- 今日の進め方で良かったと思います。
- テーマを決めて1回1回行う。
- 婦中地域と一括りにしてもその中の地区による特性もあり、議論が分散する。
- 小学校や公民館等地域のコミュニティーは防災機能の維持に不可欠。議論をわけて。市以外の他のセクター（県や公的な団体（商工会・農協等）の施設も含めて可能性を検討してほしい。
- 議論が広すぎる。

②. 地域のまちづくりや公共施設について、どのような課題があるかについて

- 利便性の向上の検討の議論が必要である（アンケート調査等）。
- 集中から分散への動向にあり 20 年後も人口減少はなく現状維持が原則です。小学校区は地区発展の基礎であり、少人数でも学校は維持すべき。
- 防災関連施設は現状維持以上の対策が必要になると思う。
- 利用の少ない施設をどう改善、変更していくかは課題として必要。
- 市町村合併以来婦中地域の人口増と行政サービスの低下が地域住民の不満として残っている。
- 人口減が見込まれている地区のサービス施設の統合について、サービスを受けるために必要なコスト（距離、アクセス手段）について十分な検討が必要。悪循環に陥らないことが大切。
- 利用率の状況。
- 築 30 年以上経過している公民館で小学校区に 1 ヶ所以上有る地区は、縮小する事が必要。
- 小学校、地区センターの合併に関しては、地区の中核施設であるので地区毎にあるのが望ましいが、財政上困難であるとすれば、どうすれば良いのか考えなければと思います。
- 地区の公共施設は利用率にかかわらず必要だと思います。
- 子どもたちは校区外に出ることができず自分の校区内の施設しか利用できないため地域差が出やすい。
- 施設の使い方が分からない。どんな時に使用すればいいのか？公民館の平日活用について。
- 利便があればよい（手続を簡素に）。
- グループ内の意見を聞いて、今後検討したい。
- 各地域の施設はどのような人（年齢 居住地域）が、および稼働率はどのような目的で使用しているのかによっても違った見え方になるのではないかと思います。

- 利用率が高くなく必要性がないと考えられてしまうと問題があると思う。利用率を上げる方法を考える事が重要と考える。但し、施設統合に伴う多様性は可能と思います。
- 旧婦中地域内にある物はすべて必要だと思う。
- 地域間格差があってはダメだと思う。
- 公共施設利用が少ない。
- 住み良いまちづくりにしていくためには、無駄を省くには結局、利用度の低い施設、年数の高い施設の削減は仕方ないと思う。
- 第一段階として了解した。
- ①施設の見直しは必要。特に古い建物。②交通（公共）の便を再検討してほしい。
- 公共施設の維持修繕を行う。
- 施設は使用する年代により、違いがある。使用実態をより詳細に分析していく必要がある。
- 車社会での駐車場確保（公共施設利用にあたって）。
- 施設廃止されて放置されている施設がある（笹倉にあった青少年婦人会館周辺、婦中保健センター）。
- コストがかかるというのはイニシャルコスト？運用にかかる？分けて考えたい。

③. ②の課題を解決するためには、公共施設をどのように再編、維持していけばよいと考えるかについて

- 長期的には人口減少による施設維持の負担増は避けられないため、複合化を進めて、数の削減は必要では無いかと感じます。その場合は、駐車場や交通機関をセットに考える必要があると思います。
- 皆でディスカッション検討する。
- 民営化の方向は難しい。再編は難しい。現状は発展地域にあります。
- 特になし。

- 再編できるものはすべきと思う。
- 住民サービスのため維持すべきものは維持し、良い方向で議論すべき。
- 最低限でも現状維持が不可欠である。
- 人口増、高利用率施設の運用を民間委託するなどコストダウンし、その分を中山間地、人口減地区のサービス維持にまわせないか。
- 公共サービスを集約するなら、デマンドバス等の交通機関の充実を図るべき。
- 公共施設の統合、業務の集約を再編検討して、耐震&防災構造を兼ね備え、方向性を進めて行く。
- 今後考えてみます。
- 地区の公共施設は維持し、その外の施設は説明も受けて考える。
- 複合が望ましいと思う。
- 空き教室がある小学校や保育所などは複合可能ではないか。
- 地区をまたいで相互利用を促進していく事が望ましいと思う。その為には、どこにどのような施設があって、どのように利用できるのかを情報公開していくことが重要だと思う。
- 地域のため存続をぜひお願いしたい。
- 現段階でまだ考えられない。
- よく知らない施設に対しての判断はしにくいかもしれません（例ふるさと創生館）。
- 立地条件を考えた再編、移動手段（公共交通手段）の利便性向上。
- いろいろな施設を共有すればよい。
- これから、じっくりいろいろな声をひろっていきたい。
- 効率ばかりでは困る人もいるのでは。
- 高齢者に利用しやすい小型化。
- 地域をもっと細分して議論しないと、難しい？
- 機能統合し空地を造ること。

- 第三者のファシリテーターを入れての進め方はとても有用と感じました。ファシリテーターの方も適切に進行されていると感じました。
- 複合的な活用を検討する。
- 進め方がはっきりしていないので意見が幅広すぎてまとまらないでしょう。そもそもこのWS、参加者のせいにして、結局富山市が削減、廃止は市民の意見だったと…言うためのものかなあって思う。
- ナシ。
- 高齢者、若い世代との考え方の違いについて。
- 人口が増減する地域があり、不足している状況を調査して、利用者を分散して行けないか。
- 具体的なポイントの絞り込み（問題・要因）が必要。
- 皆様の意見、問題等拝聴でき良い進め方と思います。
- 感情で話さず、目的をしっかりと定めて議論できたらいいと思う。
- 議論の論点、焦点をはっきりさせて進めて欲しい。
- 具体的なまちづくりと公共施設の利用の仕方を進めてほしかった。
- 初回であり取りまとめ大変だったと思う。次回に期待。
- 個人によって発言に強弱があるというのは仕方がないことですが、難しいところだと感じました。いきなり話すのではなく各自でメモ化して提示してもよいかもしれないとも思いました（書いた方が整理されたり出やすいということがあるかも）。
- 高齢社会になっていくので交通の利便性が大切。
- これでいいのでは。
- 良かった。次回もよろしく。
- 人数が多すぎて深まった議論ができない。
- 記録がないので議論が流れてしまって、積み重なった議論ができない。

- ファシリテーターのかわりのファシリテーターを用意して「ワークショップらしいワークショップ」にしてほしかった。

○可能な限り原文のまま表記をしておりますが、ご記入いただいた主旨を変えない範囲で事務局にて修正を行っている箇所があります。記載内容に表現、主旨の誤りがある場合には事務局までお知らせください。